

施設名	近戸橋(ちかどばし)								
所在地	大分県 臼杵市								
管理者等	臼杵市								
施設種類・分野	道路	橋							
施設概要 (明治期との関連含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●橋長:26.7m ●幅員:5.4m ●支間:23.7m(1連) ●拱矢:11.14m ●形式:石アーチ 近戸橋は、藩道、間戸水車橋(現在は水没)に代わって、その下流に架けられた石拱橋で、乙見ダムの出来る昭和43年(1968年)までは、産業の交易はもとより、風連鍾乳洞と臼杵石仏を結んだ観光路線の使命も果たした橋でした。 ※)文献1より引用		 <p style="text-align: right;">※)職員撮影</p>						
築造時期	明治中期	時期詳細	明治26年						
関連人物	釘宮八重蔵、足立三代蔵、芦刈倉蔵								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	橋の請負人堀太市は私財を投じ、責任を貫徹したことに、身を殺して大義をなした人として後世まで賞賛されています。また、左岸上流側の壁石は、昭和初期に積み直しており布積みとなっています。要石の上、橋面までの土被りの厚さは石一本程度であり、橋の美観を際立たせています。 ※)文献1より引用								
歴史的な遺産等の指定の有無等	-	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
		その他の指定・認定	臼杵市指定有形文化財(平成4年指定)						
その他 (関連資料、文献)	文献1:一般社団法人九州地域づくり協会「土木遺産in九州」 http://dobokuisan.qscpua2.com/search-list/05ooita/43chikadohashi/								
管理者等のHP (URL等)	臼杵市教育委員会HP http://www.city.usuki.oita.jp/docs/2014020400328/								